

議会を傍聴して ちよつと一言

一人歩きはできません

市町村合併は、絶対に避けて通れない国の政策です。

福岡県においても、宗像、久留米、その他合併の町づくりが出来て、早くも活動されています。

私の町鞍手町の1市4町の町づくりはもろくも崩れてしまいました。

私は、こう思います。

生まれた赤ちゃんは、一人歩きはできません。やはり、親の愛情に育まれながら成長していくのです。市町村合併もそのとおりではないでしょうか。

鞍手町だけでは一人歩きすることは今後不可能ではないでしょうか。

助成金その他あらゆる面において、本日の議会を傍聴して、やはり一日も早く合併の方向に地域住民の声を良く聞いて、そのためには、わかりやすい説明をして欲しいと思います。

新しい町づくりこそ、鞍手町の明るい明日に繋がるのではないのでしょうか。

(西区 井立田秀康さん)

もっと町民の声を聞いて欲しい

合併に関する質問があるだろうというところで、2回目の傍聴をした。質問者は、相も変わらず同じ氏名が並び、質問の内容も行政になんらかおねだりばかりである。氏名の出ない議員は、何を考えているのかも町民には見えない。町民の意志を反映して自分たちは動いているような発言が出たが、町民の一人として云うなら、議員等と話をする機会もない。これからの分権時代は、行政の企画立案能力がなければどんな事業も実行できなくなるが、3町では不可と思う。

議員さんは町民に対し自分たちの考えている新市構想を述べながら町民と議論を重ねて、その上で特別委員会等で議論を重ねてもらいたい。安易に住民投票と言ってもらいたくない。合併の特別委員会を公開し、傍聴させてもらいたい。議員の皆様自身が町民の意志を吸収する努力をされるべきである。町の置かれた立場など視野を広くして検討願いたい。

(大池区 榎原紘さん)

議会を傍聴しませんか

受付は、当日議会事務局で行ないます。

不明な点は、お尋ねください。

次回は9月議会です

議会事務局 42-2111 (内線331)

編集スタッフ

委員長	宇田川 亮
副委員長	香原 暹
委員	松本 典子
委員	岡崎 邦博
委員	織田 三千雄
委員	毛利 喬

編集後記

▼今年は今梅雨でいつになく早く明け、毎日暑い日が続いていますが、全国的にも異常高温や局地的な集中豪雨が各地で起こっています。

▼市町村合併は、全国各地で協議が行なわれていますが、合併ができたところと合併目前で破綻したところと大きく分かれてきています。市町村合併には、それぞれの市町村が持つ過去の歴史や風土を大切にしながら多様性を認め合い、住民の意見を尊重し、合意形成を図ることが合併に繋がることだと思えます。住民の意向を確かめず、住民を無視する形での合併協議はいずれ破綻するか、多くの禍根を残すこととなります。

▼町執行部と議会だけで合併を進めると言われないように、町議会としては、鞍手町の将来を考え、真摯に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

(岡崎 邦博)